

ひらた通園だより

社会福祉法人 旭川荘
ひらた旭川荘通園センター
令和4年 3月4日
発行責任者 佐藤 美彦

～第110号～

立春を過ぎ、少しずつ身近に春を感じられるようになりました。寒さが厳しい冬であっただけに、春が近づくと気配がとても嬉しく感じられます。しかしながら、厳しいコロナの季節はいつになったら過ぎ去り、穏やかな風が吹いて来るのでしょうか。

ご利用者様、ご家族の皆様には、2月の初めより、他事業所との併用利用を控えていただくという対応をお願いしております。皆様方におかれましてもそれぞれの生活スタイルがある中で、ご協力していただき大変感謝いたしております。しかしながら、オミクロン株の感染力は強く、感染者数の減少は緩やかで、下げどまっております。今しばらく、「我慢の時期」であると感じております。一日も早く、以前のようにひらた通園センターをご利用していただける日が来ることを心より願っております。

支援主幹 難波千春

～看護師より～

少しずつ寒さも和らぎ、春が近づいてきています。しかし、アレルギーを持っている人にはつらい花粉症のシーズン到来です。花粉症の症状として、目の痒み・くしゃみ・鼻水・鼻づまりなどがあります。今流行している新型コロナウイルス感染と症状が似ている部分もあり、見分けが難しいところもあります。新型コロナウイルス感染拡大防止のためにも、少しの体の不調があれば無理をせず休んでもらい、かかりつけ医や医療機関を受診して頂くことをお勧めします。また、3回目のワクチン接種も進んできていますが、基礎疾患がある人にとっては、いくらオミクロン株が軽症といっても重症化するリスクはあると思います。手元に接種券が届きましたら、ワクチン接種をして重症化予防・発症予防・感染予防効果がある等考えていただき、接種するか決めていただけたらと思います。

看護主任 金高麻衣子

春と言えば…素敵な花がたくさん咲き、春の匂いが漂い、景色がワントーン明るくカラフルになります。私は、近所の土手に満開に咲く、桜の下を歩くのが大好きで、毎年、桜が咲くのを楽しみにしています。今年も桜が咲いたら、桜の下を歩こうと思っています。

(難波千春)

ちょっとだけ、春の花言葉を紹介します。

- さくら…精神の美、優雅な女性
- 菜の花…小さな幸せ、快活な愛、明るさ
- チューリップ…思いやり、名声、愛の告白

お誕生日

おめでとうございます



石井 有香さん

平成7年3月6日生れ



河原 大樹さん

平成6年3月9日生れ